

## 第6回芦屋すこやか長寿プラン21策定委員会 会議録

令和3年1月21日（木）に開催を予定していた第6回芦屋すこやか長寿プラン21策定委員会は、政府基本方針に基づく「新型コロナウイルス感染拡大防止」の観点から、書面開催とすることとしました。

日 時	令和3年1月15日(金)～令和3年1月25日(月)
会 場	書面開催
参 加 者	委員長 澤田 有希子 委 員 宮崎 睦雄, 岩本 仁紀子, 加納 多恵子, 松本 明宏 和田 周郎, 鈴木 珠子, 柴沼 元, 原 秀敏, 三谷 康子 廣田 輝代, 中野 富枝, 安達 昌宏 オブザーバー 仲西 博子 事務局 高齢介護課 篠原 隆志, 坂手 克好, 田尾 直裕, 大西 貴和 篠崎 紘志 監査指導課 岡田 きよみ 福祉部主幹（地域共生推進担当） 吉川 里香

### 1 議 題

- (1) 第9次芦屋すこやか長寿プラン21の変更箇所について
- (2) 第9次芦屋すこやか長寿プラン21（原案）に係る市民意見募集結果について
- (3) 第9次芦屋すこやか長寿プラン21（原案）「第5章 介護サービス事業費の見込み」について

### 2 資 料

- ・配布資料の概要説明について
- ・第6回芦屋すこやか長寿プラン21策定委員会 次第
- ・芦屋すこやか長寿プラン21策定委員会 委員名簿
- ・【資料1】第5回芦屋すこやか長寿プラン21策定委員会以降の意見・対応一覧
- ・【資料21】市民意見募集（パブリックコメント）結果
- ・【資料2-2】市民意見と市の考え方
- ・【資料3-1】第8期 介護保険サービス給付費及び保険料について
- ・【資料3-2】第8期 第1号被保険者の保険料基準額
- ・【資料3-3】芦屋市介護保険料段階（案）第7期・第8期比較
- ・【資料4】意見記入表

### 3 議事

#### 議事（1）アンケート調査報告書（概要版）

「第9次芦屋すこやか長寿プラン21（原案）に係る市民意見募集結果」について

議 事 の 経 過	
意 見 者	意 見 内 容
事務局	<p>それでは、第9次芦屋すこやか長寿プラン21（原案）に係る市民意見募集結果について、ご意見をお願いいたします。</p>
澤田委員長	<p>パブリックコメントのご指摘は、介護に携わる人の処遇改善を重要課題とみなして、市が取り組む姿勢を明記すべきというものです。修正された「取組」では対応として「多方面からの人材確保の取組を進めます」と、人材確保の対応のみを述べているため、やや不十分ではないかと思われます。</p> <p>追記する形になりますが、例えば、「また、介護職員が働きやすい職場環境づくりに向けた研修の推進、処遇改善につながる取組、離職予防のための取組に努めます。」といった文言を加えてはいかがでしょうか。内容は市の取組と照らしていただき、適切な内容に変更いただければと思います。</p>
事務局	<p>ご指摘のとおり、「多方面からの人材確保を進めるとともに、介護現場の魅力向上、賃金等の処遇改善及び離職防止に向けた取組を行います。」に修正します。</p>
和田委員	<p>介護職員の賃金が低く改善が必要であることはその通りだと思います。その意味ではすこやか長寿プランへの明記をすることによって、現実的には財源などの問題もあり、すぐに実現することは難しいと思いますが、行政としてもそこに問題意識があることは示せるのかなと思います。</p> <p>一方で、介護事業所の管理者として感じるのは、賃金改善と同時に介護職員の専門性を高めることが必要だということです。労働力不足の影響によるものと思いますが、学習意欲がない、志が低いなど、レベルが低い職員が多く、高待遇に足る介護職員がどれほどいるのか、という現実もあるように感じていますので。</p> <p>また、近年は処遇改善加算により、多少なりとも介護職員の賃金は改善されていると思いますが、他職種との不均衡・不公平も生じているので、介護職員だけでなく、他職種を含めた介護従事者全体の賃金改善とした方がよいかもしれません。</p>
事務局	<p>ご指摘のとおり、介護職以外の事務や施設管理に従事する職員についても、他職種に比べ賃金が低く、人材が不足しているとお声を頂戴しておりますが、計画上では、介護職員への処遇改善等に取り組むとしていますが、本市におきましても介護従事者全体の賃金改善等について引き続き、国に要望を挙げてまいります。</p>

柴沼委員	<p>私はこの度、病院に入院した際、高齢者が多く、高齢者施設と同様な状態でした。患者さんの中には治療以外に数人の看護師さんがひたすら世話をされている姿を見て、その負担の大きさを再認識しました。</p> <p>介護職員の負担軽減の為、介護介助機器設備の支援、介護報酬の見直しを国に求めます。</p>
事務局	<p>介護職員の処遇改善にもつなげる介護報酬の見直し等については、引き続き、実施にあたって、国に求めてまいります。</p>
原委員	<p>市の考え方は妥当です。</p>
三谷委員	<p>1年以上に及ぶコロナ渦の中で、高齢者は毎日不安な日々を過ごしているようです。芦屋市では、介護施設での大規模なクラスターは、発生は少ないものの、いろいろな噂を聞いたりすることも日に日に増えてきました。手洗い、消毒と努力はしているものの減少せず、芦屋市感染者率は低いとは思えません。何か得策でもあるといいのですが。</p> <p>また、認知症の人の徘徊（ひとり歩きによる行方不明）の話も耳にします。行方不明になり、死亡された方もいると聞きました。老老介護者も多く、何かあった時に市民が助け合える市民の意識を高める方法があるといいのですが。</p>
事務局	<p>地域のあらゆる住民が役割を持ち、支え合いながら、自分らしく活躍できる地域コミュニティを育成し、公的な福祉サービスと協働して助け合いながら暮らすことのできる「地域共生社会」の実現に向けた取組を進めてまいります。</p>
廣田委員	<p>【施策の方向】の内容も見やすくなりました。市民の方の意見〔処遇改善〕は、一言では片づけられない内容ですので、まずは、文言の中に反映しておく事が大切だと思います。</p>
事務局	<p>ご意見のとおり、介護人材の確保および介護に携わる方々の処遇改善は重要と考えております、計画 89 ページにも処遇改善について記載させていただいております。</p>
中野委員	<p>介護職の処遇改善についてですが、第9次芦屋すこやか長寿プラン 21 の「介護人材の確保に向けた取組」の施策を強く推進していただきたいと思います。</p> <p>処遇改善には処遇改善加算等給料のアップは勿論のこと、労働時間の改善なども必要ですが、介護職が対人援助の専門職として、また、魅力ある職場として社会的に認知されることも重要です。</p>

	<p>これらが認知されるには、市が施策で取り組む項目として掲げている、介護職のスキルアップに対する支援や魅力ある職場としてのアピール、業務の効率化、ICTの推進など、市が事業者として協働してさらに充実させていくことが必要であると思います。</p>
事務局	<p>事業の実施にあたっては、事業者と協働し、取り組んでまいります。</p>
事務局	<p>それでは、第9次芦屋すこやか長寿プラン 21（原案）「第5章 介護サービス事業費の見込み」について、皆さまからご意見をお願いします。</p>
澤田委員長	<p>使いたいときに使える持続可能な介護保険料のために、保険料が適正かつ有効に使われることを望みます。</p>
事務局	<p>介護保険制度の持続可能性を確保するために策定した「芦屋市給付適正化計画」に基づき、介護給付費の適正化に努めるとともに、適切な介護保制度の運営に努めてまいります。</p>
松本委員	<p>1点確認ですが、104 ページ②介護給付費の表で、訪問看護の伸び率が 106%と他に比べて高いのですが、これは療法士によるリハビリの伸びを見込んでいるという理解で良かったでしょうか。</p>
事務局	<p>本見込みにつきましては、本市での過去実績の伸び率と高齢者人口の増加を見込み算出した給付費となっており、特段療法士によるリハビリによるものを見込んだものではありません。</p>
和田委員	<p>コロナという状況にも影響を受けるので、見込みを正確に予測するのは非常に難しいと思います。リハビリや医療的ケアに対応できるサービスが、今後需要として増えていくように思うのでそういったサービスの質と量を上げていくような方向で見込むのがよいように思います。</p> <p>看護小規模多機能の整備をしていくのは今後のニーズに合致していると思います。</p>
原委員	<p>介護保険について市民の関心は、①保険料は他市に比べて高いのか安いのかと、②将来どうなるのかの二点ではないでしょうか。①については、県下（全国）平均との比較や阪神各市町との平均保険料比較を示すことは可能です。②については、10月26日の委員会資料3で令和22年度までの給付費見込額が示されています。1人あたり平均保険料の推計も可能です。</p>

事務局	<p>プランは市民へのメッセージです。わかりやすい情報提要在最も重要です。コラムは良い取り組みですね。是非増やしてください。</p> <p>保険料については、県下（全国）平均との比較や阪神各市町との平均保険料比較を示すことは可能です。本計画だけでなく、ホームページ等でも分かりやすい情報発信に努めてまいります。</p> <p>将来どうなるのかについては、市民の関心が高いことも考えた上で、適切な保険料額になるよう努めてまいります。</p>
三谷委員	<p>令和3年度から毎年のように給付費が増え続ける現状高齢化率も、令和2年（2020年度）では29%という数字に驚くばかりです。第1号被保険者の保険料も年金生活者にとっては、大きな負担のように思えます。低所得者に令和3年度は軽減されるようですが、不安を抱える市民は少なくないと思います。</p>
事務局	<p>低所得者への保険料の設定にあたっては、公費による保険料軽減を実施するなど、適切な金額になるよう設定してまいります。</p>
中野委員	<p>使いたいときに使える持続可能な介護保険料のために、保険料が適正かつ有効に使われることを望みます。</p>
事務局	<p>介護保険制度の持続可能性を確保するために策定した「芦屋市給付適正化計画」に基づき、介護給付費の適正化に努めるとともに、適切な介護保制度の運営に努めてまいります。</p>
事務局	<p>皆さん、貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございました。</p> <p>（終了）</p>